

〔LNG 基地見学の感想が寄せられたので紹介します。〕

(Aさんの感想)

LNGとは、「ガスを扱う会社」くらいの知識しか持ち合わせていない私からです。はげっ子倶楽部の総会で杉本さんが担当に決まった行事でした。大企業との折衝を一手にこなされ実現しました。有難う御座いました。

会社の名は「石油資源開発株式会社」(JAPEX)で、「相馬プロジェクト」として建設している。LNGとは液化天然ガス(主成分はメタン)、基地は新地町にある。この3月から操業開始した。

〈ガスが精製されるまで〉

地下のガスから不純物を除去し、マイナス162度で冷やして液化し外航タンカーで輸入、タンクに貯蔵、精製し岩沼・仙台・山形・郡山・新潟にパイプで送る。液化ガスを気化ガスにすると600倍にふけるとか。LNGは船で北海道に出荷。

タンクはどでかい！ 230万キロリットル、タンクの中に大型ジェット機が2機入るとか。タンクの強度は千年に一度程度の地震津波に耐えられるとか(係留中の大型タンカーがぶつかっても大丈夫？「想定外でした」は無しにしてほしいが)。時々夕方煙突で燃やされている炎は、ガスの調整のためとか。

屋上からは建設中の第二タンクと発電所などが見えた(第二タンク、ガス発電所完成は2020年)。

相馬市の復興にどれだけ貢献してくれるかは？ 雇用面、他の企業誘致にハズミがつくとか、市に入る収入？ これまで復興庁と自治体の協議で進められてきた。一市民として心配なのは、安全面・環境面だと思います。そのための監視、検証、点検をしっかりとしてほしいものです。水環境を守る「はげっ子倶楽部」としては何を？

(Kさんの感想)

見学会が終わり、建物(管理棟)の玄関を出る直前、幹部社員の方と少し話をしましたので、その時のことを紹介します。

その方は神奈川県出身で、今まで鹿児島から北海道までまわったとのこと。LNG基地は、約20年前に「いわき～仙台(岩沼)圏に一つ置き、日本海側まで通じる場所を見つけることを考えて、双葉あたりが候補地に挙がっていたが、東日本大震災があり相馬になった。」とのこと。色々ご苦労があったようです。

(Sさんの感想)

相馬共同火力発電所の傍らに何やら巨大なタンクが出現したのは去年のこと。8月22日の液化天然ガス(LNG)の基地見学は、田舎暮らしの私にとって驚きの連続。

巨大タンクの工法、10mの津波に耐えられる強度、また沖に浮かぶ外航タンカーの大きさ、LNGのパイプラインネットワークが郡山、仙台、山形、そして新潟へ続く。

津波の後の荒涼とした原釜の海が大きく変わり、私の目の前に未来の姿を見せてくれた。鹿島区の風力発電、磯部の太陽光パネル、火発、そしてLNG基地と相双の海端(うみっぱた)はクリーンエネルギーのエリアへと変身を遂げた。なにか、少し希望を感じる瞬間だった。

猛暑の中でしたが、心地よい海風が吹き印象深い見学会でした。